

ESC MC-980H/A、MC-9130H/A、MC-9200H/A についての注意事項

FASSTest および T-FHSS Air のみ



MC-980H/A



MC-9130H/A



MC-9200H/A

上記3種類のESCのBEC電圧（受信機へ供給される電圧）は、起動時に数秒間約5.0Vで出力され、その後ユーザーが設定したBEC電圧が出力されます。そのため、FASSTest および T-FHSS Air 受信機のバッテリフェールセーフ電圧を 5.0V 以上に設定してしまうとバッテリーが十分あるにもかかわらずバッテリフェールセーフ状態になってしまいます。

※ FASST や S-FHSS 受信機のバッテリフェールセーフ電圧は 3.8V 固定のため問題ありません。

対策方法

以下2つのどちらかの対策を行ってください。

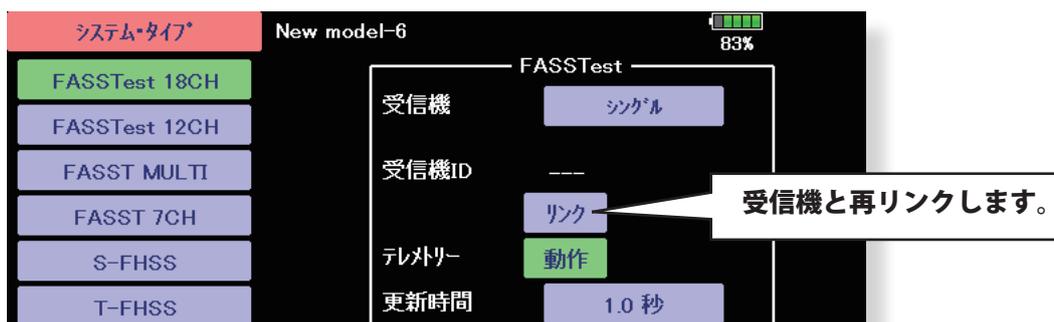
1. バッテリフェールセーフ電圧を 4.8V 以下にする。
2. バッテリフェールセーフ設定を OFF にする。

※ バッテリー電圧の監視方法として受信機の電圧をテレメトリー・アラームでチェックする。

◆ T32MZ の例 ※ その他送信機の設定方法は各送信機の取扱説明書を参照ください。

T32MZ のバッテリフェールセーフ電圧変更方法

リンケージ・メニュー → システム・タイプ



B.F/S 電圧を 4.8 V 以下に



受信機と再リンクします。

T32MZ のバッテリーフェールセーフ解除方法

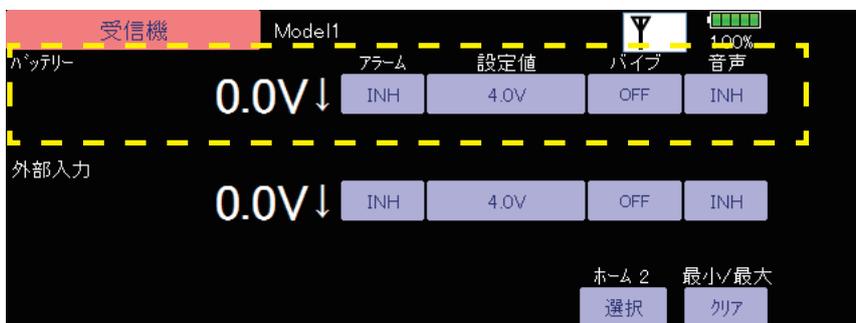
リンケージ・メニュー→フェール・セーフ

フェール・セーフ		Model1		Batt. F/S		解除SW			
OH	ファンクション	モード	B.F/S	F/S位置	OH	ファンクション	モード	B.F/S	F/S位置
1	エルロン	ホールド	OFF		7	予備5	ホールド	OFF	
2	エレベータ	ホールド	OFF		8	予備4	ホールド	OFF	
3	スロットル	ホールド	OFF		9	予備3	ホールド	OFF	
4	ラダー	ホールド	OFF		10	予備2	ホールド	OFF	
5	キア	ホールド	OFF		11	予備1	ホールド	OFF	
6	エアブレーキ	ホールド	OFF		12	予備1	ホールド	OFF	

すべて OFF へ

バッテリー電圧の監視方法

リンケージ・メニュー→テレメトリー→受信機



ここで受信機バッテリー電圧のアラーム設定ができます。

※ここでは 5.0 V 以上に設定しても ESC には問題ありません。